



キャリアの役割について

リハビリテーション学部 准教授 後藤 誠



大学におけるキャリアと聞いても保護者の方々にとってピンと来ないかもしれませんが、学生の就職支援など卒業後の進路を扱う部署がキャリアセンター(以下、キャリア)です。職員・教員らが学生の4年間に積極的に関わり、学生の特性を把握した上で就職や進路について担当カウンセラーがアドバイスを行います。

本学には経済学部とリハビリテーション学部がある中、今回は理学療法士になるという将来を見据えて有意義な4年間を過ごし、希望とする就職進路のため多彩な支援プログラムを展開しているリハビリテーション学部におけるキャリアの役割について記載します。

キャリアでは就職情報の提供、履歴書の添削、面接試験の練習など学生の就職活動をサポートしているほか、毎年次行われる実習への対応としてマナー講座を開催しています。マナーは社会人・医療人として必要不可欠であり、大学内での生活とは全く異なる環境に適応する能力を養わなければなりません。

1年次は4月入学直後に基本マナー研修を行い、入学直後から医療人として意識付けを行います。次いで、8月に行われる初めての实習前にも挨拶・立ち振る舞い・コミュニケーションなど基本マナーの確認を行う講座を開いています。2年次は後期必修科目として、仕事として求められる礼儀作法など、人間関係を円滑にするために必要な内容全般を学ぶビジネス・マナーという科目があります。また、2月に行われる2週間の実習前に、患者・利用者への接し方や言葉遣いなどをケースに応じて学ぶ医療接客マナー講座を開催しています。3年次は11月末から3週間行われる実習前に講座を開き、基本マナーを確認・周知し実習に臨みますが、実習先の病院・施設からは、対人コミュニケーション能力不足、消極的行動、挨拶や言葉使いができていないなどの報告を頂いており、これらに対してはキャリアのみの対応でなく、学部として集団・個別指導とトレーニングに取り組む必要があります。

リハビリテーション学部において就職を意識して動き出すのは3年次からです。就職ガイダンスに始まり、上級生就職内定者による報告会、次いで、就職活動についてしっかり理解するため、4年実習期間中に行われる公務員などの早期試験に備えるため、そして、就職を意識して実習に臨むため小論文・一般教養対策講座を1週間かけて行います。

4年次は4～7月に約2か月間毎2か所での病院・施設実習を経験し

ます。実習先での立ち振る舞い等によっては、卒業後に就職しないかと声を掛けられることがあるため、学生にとって長期実習は就職情報の収集や学生自身の方向性(病院・クリニックなのか施設なのか、就職エリアなど)を検討する時期とも言えます。

長期実習終了後、国家試験に向けた勉強に取り組みながら、本格的に病院・施設の見学・受験に備え就職筆記試験対策(一般常識・小論文等)・履歴書作成・面接練習を行います。選考で実施される試験内容は受験先によって履歴書・作文・小論文からなる書類選考、一般常識・専門試験・適正検査からなる筆記試験、グループ・個人面接・実技試験からなる面接試験と多様であるため、実習で得たこと・成長したこと、見学で自分の目で確認したことなどをゼミ教員と担当カウンセラーで対応します。

学内においては、9月に実習先・内定先および近隣病院・施設を中心に招く合同就職説明会が開催されています。2015年度は2日間で約50の病院・施設に集まって頂き、学生は担当者から各施設の特色などの説明を直接受け、さらに就職意識を高めることになったと思われます。

卒業生の就職といえば病院のリハビリテーション部が主な就職先で、2015年3月の本学卒業生は病院(92%)、クリニック(6%)となっており、すぐに活躍できる理学療法士を希望する施設などに対し、新人研修プログラムなどを備えた病院などへの就職が多い状況です。そのほかにも、患者退院後の地域生活を支援する通所施設や訪問リハビリテーション、障がいを持つ子どもたちの発達支援・生活支援を行う療育センター、高齢者の体力づくりや健康増進にかかわる介護・福祉施設、未来の医療の礎を築く研究者を目指す大学院など多様な方向性があり、幅広い能力もしくは高い知識と技術をもったリハビリテーションの専門家・理学療法士として将来活躍の場が存在します。

理学療法士の数は増加し毎年約1万人の国家試験合格者が出ている現在、大都市での病院に必要な理学療法士は飽和状態に近いと、ある就職担当者から聞いたことがあります。履歴書や就職面接試験時に「基礎から学びたい、教えてほしい」といった記載・発言をする学生は就職試験にて勝ち残れない時代となってきています。就職先のホームページや資料などから情報をしっかり準備し、職場にて自分は「何をやる、何ができるか」の考えを持ち就職活動に臨むことが大切です。理学療法士という夢を持って入学してくる学生が、4年間の大学生活で医療人・社会人として人を理解し、受け身でなく自主性や思考力を高め、グローバルな視点を養えるよう今後も支援していきます。



神戸国際大学に奉職して

経済学部 教授 下村 雄紀

神戸国際大学と校名変更された年に、
本学に奉職してはや20数年が経ちました。
海外の大学で教育を受けた者にとって「国際大学」として新しい道を歩み始めようとする大学に就職できることに心踊ったものです。その道は決して平坦なものではなかったと思いますが、「海外研修」以外に存在しなかった留学制度も徐々にではありますが、整ってまいりました。長・短期留学制度、交換留学制度、ダブル・ディグリー制度など国際大学に相応しい制度が開拓されてきたことに感慨深いものを覚えます。

地域研究の視座からみましても、様々な研究地域をもつ多彩な教育人が存在し、就任当時のことを思えば不思議な気がいたします。地域としてみれば、北米、西欧に加えて、東アジア、東南アジアそしてロシア地域の研究者を要する国際大学としての素地を十分にもつ大学にまで成長してきたことが分かります。留学生の出身地も嘗ての中国・韓国という東アジアからだったものが、東南アジア各国や台湾の学生も加わり、アメリカ、オーストラリア、そしてノルウェーとともに多様化が進んでおります。留学生の多様化に対応するための日本語教育もかなり充実してきており、経済学部だけでは抱えきれないほどの変貌に驚かされるばかりです。

英語で授業提供する科目も次第が増えて、垂水時代に英語で社会科学を教えらるる英語教員として採用された頃からは大きく変わりました。当時の学生は英語で授業を始める目を丸くして啞然とし、私の顔を見直して(日本人じゃないのだからと)妙に納得し、極め付きに「その割には日本語が上手い」と思ったそうです。留学生を含む卒業生との会食では、そんな話で盛り上がっています。これに対して、英語で授業をすると、「何してくれんねん」と思ったり、「国際大学やったんや」などと改めて思ったりしたという卒業生もいて、皆に「何を今更」とからかわれる始末です。そんな楽しい思い出で飲み食いしながら会話を交わしておりますと、今や父親や母親の顔をもつ彼らがふと愛おしくも思えます。これが教員になった醍醐味でしょうか。

大学教育も今や様変わりしました。現在の学生から「大学生らしさ」を引き出すのは難しくなりましたが、それでも応えてくれる学生も多く見受けられます。もともと、こちらがご両親よりも年上になったことも彼らの優しさに関係しているのかもしれませんが、最近、私も随分と柔らかくなったらしく、卒業生と現役生の話を聞いていると、「君たちは随分と楽をしているね」とか「いい時期にゼミに入ったね」などと言っているようです。そんな会話も先輩・後輩なればこそものなのでしょう。そんな時は、苦笑いして黙って「拝聴する」ことにしております。

また、社会が求める人材も変わってきました。基礎知識は勿論のこと語学力や社会人としてのマナーなど、嘗ては社会人になってから身につけるものと考えられていたものが卒業時には身につけておく条件になっています。海外派遣の際に会社の費用で語学学校に通わせたり、幹部候補生の教育の一環としての会社派遣の留学プログラムなどが存在したりしていましたが、長引いた不況時代に殆ど消滅して、大学卒業生の素養と位置付けられるようになりました。しかも語学力のみに集中して、文学・社会といった教養部分からは遊離したものを要求しているようにも思えます。古い時代の教育を受けた身としては、寂しい思いをすることもありますが、それも教員として現実から目を逸らすことは許されないでしょう。それでも、大学教育の根幹が「考える力を育てることにある」との信念だけは捨てずに本学の学生たちと向き合っていきたいと「頑固に」思っている次第です。

決して、「昔は良かった」などと思っている訳ではありません。今の教育現場は、学生が直面している問題に真っ向から向き合っているという点では、以前より遥かに優れているのも事実です。「小さな大学」の利点は、どの研究室でも自由に入出りできる点でしょうか。受講していない先生にもレポートや論文、基礎知識や文献紹介など相談できる大学などそうあるものではありません。他大学の学生が私のゼミに参加して、「こんな大学はいいなあ。先生の研究室など入ったこともない」と言って、結局卒論の相談まで受け付けたことがあります。そんな学生たちは今や上場企業や公務員など社会人として活躍しています。我が学生たちもこの大学の美点を知り、活かして欲しいものです。

これからも本学は「国際大学」として発展していく大学であり続けると願っておりますが、学生が何よりも「普通であることの難しさ」も知る地に足のついた人間に育って欲しいと思います。その上で、それぞれの「普通」を定義し、目標や夢に向かって果敢にチャレンジしてくれるならば、「人生はそれぞれが創造するもの」という意味が分かること期待しています。親となった卒業生たちが、「あの時、私の親はこんな気持ちだったんだ」と呟くのを聞くとはっとするのは、そこに一人の人間として親として歩み始めた証を見出すからかもしれません。

ご父兄の「子育て」という長年のご努力に感動さえも覚えるのもそんな時です。親子関係とは意外とユニバーサルなもので、私の研究分野の世界的権威者でも子供のことに一喜一憂するのをみるにつけ、思わず微笑んでしまいます。言語や文化の違いなどどこ吹く風といったところなのですから。ご父兄のご苦労も多いと思いますが、ひとりでも多くの在校生や卒業生に幸せになって欲しいと願っているのは、私だけではなく全教職員の願いでもあると確信しております。

留学生ニュース

進路状況

進学先

- 大阪市立大学大学院 経済学研究科
- 神戸外国語大学大学院 外国語学研究科
- 大阪学院大学大学院 商学研究科
- 兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科4名
- 関西大学大学院 商学研究科
- 立命館大学大学院
- 関西大学大学院 文学研究科
- テクノロジーマネジメント学研究科
- 関西大学大学院 経済学研究科
- 和歌山大学大学院 経済学研究科3名

就職(内定)先

- 株式会社コロワイドMD(内定)
- 株式会社東洋商事(内定)
- 株式会社ホテルニューアワジ(内定) 2名
- 株式会社関門海(内定) 2名
- 株式会社バル(内定)
- 日本テクノロジーソリューション株式会社(内定)
- ラオックス株式会社(内定)
- 株式会社メイクアップ(内定)
- 株式会社ソフティ(内定)
- 株式会社空港専門店(内定)

国際交流スタッフより

国際交流では海外からの留学生サポートや交流イベント開催に加え、海外研修や交換留学といった日本人学生のための異文化体験プログラムも取り扱っています。少しでも興味のある学生にはどんどん参加してほしいと思います。

イベント

★見学★



★スポーツ&料理&餅つき大会★



学事予定・学校からのお知らせ (3月～8月)

学事

- 3月30日(水) 履修書類配布・経済履修指導
健康診断(2～4年次生対象)
- 3月31日(木) 履修書類配布・リハ履修指導
健康診断(2～4年次生対象)
- 4月5日(火) 入学前レクリエーション(経済のみ)・女子会
- 4月6日(水) 入学式 経済学部 10:00～
リハビリ 14:00～
保護者会、後援会総会 12:00～
- 4月7日(木) } 新入生オリエンテーション [両学部]
- 4月8日(金) } 履修指導
- 4月11日(月) 前期授業開始
- 4月11日(月) 前期「履修登録」・「教職課程登録」期間
～16日(土)
- 4月18日(月) 教科書販売
～20日(水)
- 5月9日(月) 前期「個人時間割配布・修正」期間
～14日(土)
- 5月9日(月) 教科書販売(2次)
～10日(火)
- 7月18日(月祝) 通常授業実施
- 7月30日(土) 前期授業終了
- 8月1日(月) 前期「補講」期間
～2日(火)
- 8月3日(水) 前期「定期試験」期間
～9日(火)

- 8月10日(水)～ 集中講義
- 8月10日(水) 夏期休暇期間
～9月25日(日)

成績

2016年度前期の学業成績通知は9月中旬ごろ郵送します。
(保証人住所宛)
お問い合わせ:教学センター教務 078-845-3500

学費

前期学納金振込用紙送付予定 4月上旬
お問い合わせ:管理運営センター 078-845-3111

奨学金

説明会開催4月上旬 学内掲示で案内します。
お問い合わせ:教学センター厚生補導 078-845-3110

留学

海外研修、交換留学について
お問い合わせ:教学センター国際交流 078-845-3456

入試

2017年度の入試要項は5月頃に出来上がる予定です。
お問い合わせ:入試広報センター 078-845-3131

臨床実習(リハビリテーション学部)

臨床実習Ⅲ(4年)	4月11日(月)～5月21日(土)
臨床実習Ⅳ(4年)	6月6日(月)～7月23日(土)
理学療法概論演習(1年)	8月1日(月)～6日(土)
臨床実習Ⅱ(3年)	11月28日(月)～12月17日(土)
臨床実習Ⅰ(2年)	2月13日(月)～25日(土)

2015年度学生団体試合結果(後期分)

サッカー部

2015年第93回関西学生サッカーリーグ戦
2部リーグ Bリーグ(通期)
5勝10敗3分 7位 大阪府立大学との入替戦へ
◇入替戦◇ 神戸国際大学 ○2-1 大阪府立大学(3部4位)
2部Bリーグ残留
※詳細はH.P「関西学生サッカー連盟」をご覧ください

ハンドボール部

関西学生リーグ戦(秋季)3部リーグ 4勝2敗 第2位
甲南大学との入替戦へ
◇入替戦◇ 神戸国際大学 ●24-34 甲南大学(2部6位)
3部リーグ残留
☆得点ランキング 第5位 中村 友哉(経済・1年生)
☆得点ランキング 第7位 若木 佑典(経済・1年生)
☆得点ランキング 第9位 林田 優希(経済・1年生)
※詳細はH.P「関西学生ハンドボール連盟」をご覧ください
☆2015わかやま紀の国国体
兵庫県ハンドボール競技成年の部選出 南 真文(経済・4年生)

硬式野球部

阪神大学野球連盟リーグ戦(秋季)2部西リーグ 6勝4敗(3位)
☆ベストナイン 山口 秀一(経済・2年生)
※詳細はH.P「阪神大学野球連盟」をご覧ください

バレーボール部

関西学生リーグ戦(秋季)4部リーグ 4勝2敗 第2位
京都大学との入替戦へ
◇入替戦◇ 神戸国際大学 ●1-3 京都大学(3部7位)
4部リーグ残留
※詳細はH.P「関西大学バレーボール連盟」をご覧ください

バスケットボール部

関西学生バスケットボール連盟 2015年 6部リーグBブロック
5勝0敗 優勝 1位グループ順位決定戦へ
1位リーグ戦 1勝1敗 2位 県立滋賀大学との入替戦へ
◇入替戦◇ 神戸国際大学 ○76-66 県立滋賀大学(5部11位)
5部昇格
☆敢闘賞 野路 大翔(リハ・2年生)
☆3Pランキング 第3位 荒木 祐太(経済・2年生)
☆3Pランキング 第10位 森本 凌(リハ・1年生)
※詳細はH.P「関西学生バスケットボール連盟」をご覧ください

陸上競技部

第68回西日本学生対抗陸上競技大会
400m出場 緒方 政弥(経済・2年生)

保護者相談会の開催予定

(教学センター・キャリアセンター)

この相談会は個別面談方式です。教員および教務担当・キャリア担当職員が保護者の方からのご質問にお答えする形で行います。学生のみなさんのカリキュラムなど勉学制度、成績表などの見方や就学状況、また就職活動などについてご説明をさせていただきます。開催の1か月前に保護者あてにご案内します。(全員参加ではございません。ご希望の方のみお申し込みください。)

日時	場所
6月18日(土)	本学(2～4年対象)
9月9日(金)	地方会場(全学年対象)
9月10日(土)	
9月17日(土)	本学(1年対象)
11月19日(土)	本学(全学年対象)

募金活動報告



学生会では9月に発生しました台風18号による茨城県鬼怒川決壊災害に対し、住吉駅周辺にて募金活動を行いました。

募金活動の結果

[103,934円]

11月25日日本赤十字社兵庫県支部へ茨城県台風18号災害募金として全額寄付をいたしました。

発行 神戸国際大学 保護者会 後援会

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6
神戸国際大学 教学センター内
TEL 078-845-3110